

多摩美術大学

生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻

学校推薦型選抜 2027

**tama
pro**



学科・専攻の特色

プロダクトデザイン専攻は長年にわたり、製品デザインの業界で国内に限らずグローバルに活躍し、けん引するデザイナーを数多く輩出しています。また、デザイン界のみならず、産業界でもネットワークを構築し活躍しています。プロダクトデザインの領域は今や製品の形や素材、色にとどまらず、人とモノとの関係が創り出す生活や、その生活を作る空間や社会などにも広がりを見せています。本専攻の教育プログラムもそれらの変化に対応し、ベーシックなスキルとなる“手”で考える美の追求から、多角的にモノゴトを見て考える力や、最新のコンピュータの活用力、国際人としてのコミュニケーション力、プレゼンテーションメソッドなどのアクティブラーニングを活用し、未来を担う個性豊かなプロダクトデザイナーの育成を実現しています。

選抜方針

プロダクトデザイン専攻は、学校推薦型選抜をプレゼンテーション入学試験と位置づけ、受験生自らの創造を発表する場としています。選択Aの科目「アイデア/プロセス」は、文章でのアイデア説明に加えて、イラストや図式、漫画などを用いての紙面表現です。問題文を理解したうえでのアイデア発想力を採点基準とします。選択Bの科目「スケッチ/デッサン」は、デザインスケッチや鉛筆デッサン、カラー描写などによる紙面表現です。問題文に応じた描写内容と表現力を採点基準とします。ともに初日に実技を行い、2日目にはそれら作品のプレゼンテーションを行います。なお、可否判定に用いるのは、選択A、Bともに出願時に提出する自己アピール文を含む「書類」と「実技試験」「プレゼンテーション面接」です。受験生の自由かつオリジナリティあふれる発想力や表現力に期待する新しい入学試験方法です。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

授業での学習や課外活動・クラブ活動でのコミュニケーションスキルは、その後のプロダクトデザインの学びには大切な要素です。加えて次の3つを学習し、経験してください。1つ目は“自らの長所、特技に磨きをかけること”です。自己アピール文に記入できる自らの強みを作ってください。2つ目は“発表力”です。プレゼンテーション面接の際に、自らの作品の良さを力強く明るくプレゼンテーションしてください。3つ目は“人間力”です。そのモノを必要としている人の気持ちになり、思いやりのある提案を考えてください。そのためにも日常で気になる事は放置せずに考察する習慣を見に付け、問題解決のアイデアが考えられるといいですね。

学校推薦型選抜（学校長推薦が必要となります）

- 募集人員 : 20 名（選考結果によって募集人員に満たない場合があります）
出願期間 : 2026 年 11 月 1 日（日）～ 11 月 7 日（土）[WEB 出願のみ]
出願書類郵送 : 2026 年 11 月 1 日（日）～ 11 月 7 日（土）消印有効
※海外からの出願の場合 [必着]
出願資格 : 次の「1」「2」すべてに該当する者。

1. 出願学科を専願し、強く学ぶことを希望する者で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる者。
2. 高等学校課程の出身学校長の推薦を受けることができる、次のいずれかに該当する者。
 - ① 日本における高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を2026年3月に卒業した者または2027年3月に卒業見込の者。
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025年4月1日から2027年3月31日までに修了する者またはこれに該当する見込の者。
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)を2026年3月に修了した者または2027年3月に修了見込の者。

※学校推薦型選抜と帰国生選抜の出願資格を有する者はいずれかの入学試験のみ出願できます。

選抜科目・日程

※ 選択AもしくはBのいずれかを出願時に選択してください。

選択 A

- 11月21日（土） アイデア / プロセス [3 時間]
※ 文章でのアイデア説明、他にイラスト・図式などを使った紙面表現
11月22日（日） プレゼンテーション面接
※ 上記で制作した作品を説明・アピールする

選択 B

- 11月21日（土） スケッチ / デッサン [3 時間]
※ デザインスケッチ・鉛筆デッサン・カラー描写などによる紙面表現
11月22日（日） プレゼンテーション面接
※ 上記で制作した作品を説明・アピールする

学校推薦型選抜 試験問題 選択A

アイデア/プロセス

問題：

家庭内(屋外・屋内)の使用を前提に、シーンや過ごし方を想定し、「水」に関わる場所の、時間や体験をより豊かにするためのアイデアとその際に使用するプロダクトを指定用紙に記しなさい。

条件：

1. 指定のA3用紙1枚(左上枠内:タイトル/左中段枠内:文字によるアイデア説明/左下から右半分:図式、チャート、イラスト、漫画<コマ漫画>等、自由に記述)に考えをまとめる。
2. 指定の提出するA3用紙1枚にて、アイデアの展開やプロダクトについて、翌日プレゼンテーションを行う。
3. アイデアメモ用紙(A4-3枚)も提出しなさい。
4. 記述の筆記具、画材は鉛筆(シャープペンシル含)、色鉛筆、サインペン、カラーマーカーとし、水を使用する画材は不可とする。

学校推薦型選抜 試験問題 選択B

スケッチ/デッサン 〈支給モチーフあり〉

問題：

与えられたモチーフを自由に構成し、スケッチまたはデッサンしなさい。

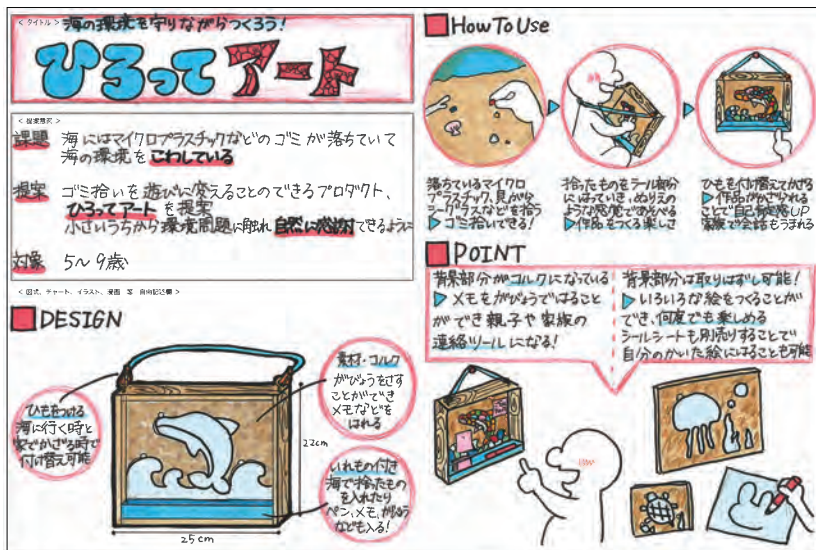
条件：

1. 指定用紙(クレセントボード:B3)は縦横自由とする。
2. 翌日、提出の指定用紙1枚にて、描写内容についてプレゼンテーションを行う。
3. 描写の画材は鉛筆(シャープペンシル含)、色鉛筆、サインペン、カラーマーカーとし、水を使用する画材は不可とする。

配布モチーフ：手おけ — 1個
スポンジ — 1個



【選択A】



出題の解釈を広げ、海や環境問題まで視野を広げた着眼点が素晴らしいです。子供への問題意識を促しつつ、アートへ昇華させた体験を想起させ、子供達の笑顔までを思い描ける点を評価しました。その広がり提案に深みを与え、学びと楽しさを両立させる作者の考えを強く感じます。完成度が高い作品です。



「おふるバッチ！」を中心に展開される多彩な仕掛けが魅力的で、子供だけでなく親の視点まで丁寧に考えられています。親が子供を見守る意識を感じさせつつ、子供が主役として楽しめる工夫が満載で、楽しいお風呂時間が過ごせそうです。色使いやレイアウトも工夫され全体としてよくまとまった作品です。

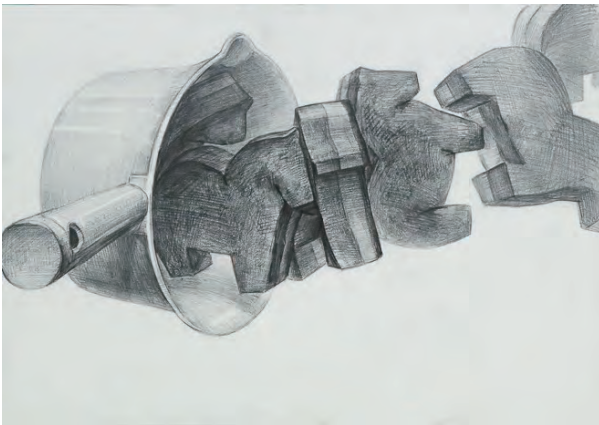
【選択B】



まず飛び込んでくるダイナミックな構図に目を惹かれます。決められた画面の中で出来る限りの動きを出しきっている印象。手おけが吸んだ水をカラフルに描くことで、配られたモチーフとそこにはない物体の境目を明確に描き分けています。若干スポンジが硬い表現ですがアイデアが上回った優秀な作品です。



馬のスポンジが手おけの淵にしがみ付いているという愛らしい描写が魅力的です。スポンジの表現をコミカルに表現することで画面構成のアクセントとし、素材感と動的な空間を表現するポイントとなっています。上の手おけの立体表現が若干ものの足りない感じですが構図に於いて創意工夫に秀でた作品です。



まずはオリジナリティ溢れる構図が目を惹きます。恐らく手おけをテニス等のラケットに、馬のスポンジをボールに見立てそのインパクトの瞬間を切り取った描写ではないでしょうか？想像力を掻き立てられるとても動的な表現力に評価が集まりました。6個描かれた馬のスポンジのそれぞれの表現も巧みです。

入学前プログラムの実施



学校推薦型選抜合格者には、入学前プログラムとして鉛筆デッサンおよび色彩構成の制作を課し、3月に学校推薦型選抜合格者及び教授陣が参加する合同講評会を開催しています。合格者それぞれに対しコメントやアドバイスを送り、入学に備えます。

■ 学生募集要項

7月中旬以降に本学ホームページで学生募集要項を公開する予定です。

出願手続きや出願書類、試験日の集合時間、持参用具などは必ず学校推薦型選抜の「学生募集要項」で確認してください。

■ お問い合わせ先

多摩美術大学 教務部入試課

<https://www.tamabi.ac.jp/contact/nyushi/>

■ キャンパス所在地

多摩美術大学 八王子キャンパス

〒192-0394

東京都八王子市鎌水 2-1723

JR 横浜線・京王相模原線橋本駅北口から神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約 8 分。

または、JR 八王子駅南口から京王バスで約 20 分。



多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻オリジナルサイト

<http://www.tamabi.ac.jp/product/>

